

まつかぜ

第31号

平成24年2月



提供:山手 正彦さん

松風台自治会

編集 文化広報部

松風台自治会長

佐 伯 芳 夫

平成7年の阪神淡路大震災で一躍脚光を浴びたボランティア活動（これをもって「日本のボランティア元年」と呼ぶ説もあります）ですが、昨年の東日本大震災でも、ボランティアの活動が海外からも注目されました。ここでは、そのボランティアについて考えてみたいと思います。

物の本によると、「ボランティア活動」とは、自発（自主）性・無償（無給）性・利他（公益）性に基づく活動をいい、その活動に従事する人達を「ボランティア」と呼ぶ、とあります。

ボランティアの先進国は、なんといってもアメリカです。アメリカでは、連邦政府が定年退職者、高齢者の社会参加の一環として彼等を組織して（「アメリカ部隊」）、活動費を援助しています。高校・大学でも、カリキュラムの中に「ボランティア活動」を入れています。軽犯罪者（交通事故の加害者など）に罰金等の刑罰に替えてボランティア活動を科すこともあるようです。

日本の場合は、江戸時代の5人組や、町内会、自治会、消防団等のように地縁・血縁で結ばれた相互扶助の慣習が古くからあったため、外部にボランティアを求めたり、外部から受け入れたりする仕組みがなく、その必要性も無かったので、つい最近までボランティアについての知識や関心が少なかったのです。

私達松風台の中にある班や自治会も、広い意味では江戸時代の5人組や庄屋制度に起源を見ることができますが、これらを「ボランティア組織」と見ることはできません。地域社会を維持するために、地縁者が集まって構成し、必要な役割を半ば義務的に（順番に）引き受けて行く慣習の上に成り立っているからです。従って、確かに無償で公益のために従事している班長さんや、私達自治会役員も、ボランティアではありません（多くの場合、自主性に欠ける）。

しかしながら、私が自治会活動をするようになってから知ったのは、ここ松風台には、沢山のボランティアがおり、ボランティア組織もあって、我々は地域の公益をそういう方々の活動に依存している部分が多い、ということです。

災害から我々を守るために活動している「防災会」の常任者の皆さん。現在は自治会に組み入れられていますが、松風台の住環境を守る会を作り育てて来た皆さん。これらの皆さんが所属する組織は自治会から活動費の支援を受けていますが、皆さんは自主的に、無給で、公益を守るために活動されている点で、ボランティアとしての要件を満たしています。松風台社協に属して福祉活動に従事している各団体の皆さんもそうです。

中には、松風台の住民の多くの方がご存じないボランティア活動をしている団体もあります。私はこの団体を、自治会の支援団体にとり上げて、活動費の一部を支援したら、と考えましたが、団体の代表者から、或る理由で、活動内容は勿論、そういう団体があることも公開しないほしい、との申し出でがありました。まさにボランティア活動そのものではありませんか（個人事ながら、私は早速この団体に入れて頂くことにしました）。

今の松風台は、こういうボランティアの皆さんの活動に支えられて今日があります。松風台が生きて行くためのエネルギー源になっているわけです。

然し、ご多分に漏れず、これらのボランティアの皆さんにも高齢化の波が押し寄せています。これからは、一人でも多くの若者の「自主・無償・利他」性のある参加が望まれています。

副会長 井嶋美代子

2011年は3月11日の大震災、原発、計画停電と今迄の生活が根底からひっくり返った様な年でした。その中で夏祭り、アパート問題、他地区との自治会活動と例年の倍以上の体力を使ったかもしれません。夏祭りでは各委員の方々の協力のもと、時間は短縮(19:30 終了)でしたが小さなお子さん達も多く、楽しい中身の濃いものでした。また防災委員の方々と自家発電を使用した事は松風台の非常時に役立つ事と思います。無理かと思われた事も多々ありましたが各支援団体の方々、各部長さん、班長さんの御協力を頂きまして無事務める事が出来ました。感謝と共にお礼申し上げます。

厳冬の候、皆様風邪など召されずにお過ごしでしょうか。事務局長という名の重責に押し潰されながらの一年でしたが、他の役員の方々に多大なるご負担をかけてしまいました。自分の役目も満足にできませんでした。でも、役員の方々をはじめ、町内の皆様と色々な面で触れ合う事が出来た事に感謝すると同時に、改めて「松風台」に住んでいて良かったと感じました。この一年は特に役員の方々の温情に心から感謝をして居ります。今度は違った容で「松風台」の皆様のお役に立ちたいと思います。

末筆ではありますが、皆様方の益々のご健勝を祈念致しまして、簡単ではございますが挨拶に代えさせていただきます。

総務書記 水野百合子

選出委員（現会長と副会長）の方がご苦勞されている様子を、未定であった総務書記を引き受けたのが昨年の今頃でした。書記の第一義的な仕事は会議の議事録を作成することで、早速レコーダーなるものを購入しましたが、話し言葉を文字にして表現するのは大変で、どうしたら会議の内容を損なわず簡潔な文章にするか勉強にはなりましたが結構苦勞しました。その上パソコンも出来ないアカログ人間なので、主人の協力でどうやら役目を果たせた次第です。

二つ目の仕事は他の役員同様湘北地区の活動に参加することです。高齢者・障害者・子供達の為の活動とそれは多岐にわたっており、大勢の方々が地域の為に働いていることを知りました。

思い出深いのは夏祭り。今迄は最後の抽選会の時だけ顔を出すだけでしたが、いざやる方にまわってみると種々雑多な仕事が沢山あって、役員は勿論班長、支援団体の方々等大勢の協力の上に成り立っていることをつくづく思い知らされました。不慣れな為失敗や不快な思いをさせてしまったことも多くありましたが、済んでみれば当日気になっていた雨も終わるまで降らず、子ども神輿や盆踊り等自分達が考えていた以上に沢山の方が参加して下さり、とてもうれしかったです。

自治会活動を通じて、良き友にも出会え多少なりとも地域や自治会のことを理解でき、無我夢中に走った一年もゴールまであと少しです。ありがとうございました。

《転出会員》（敬称略）

番 地	氏 名	転出月
		2011年8月
		2011年8月
		2011年9月
		2012年2月

《転入会員》（敬称略）

番 地	氏 名	転入月
		2012年2月

《訃報》（敬称略） ご冥福をお祈り申し上げます

番 地	氏 名	
		2011年7月
		2011年9月
		2011年9月
		2011年11月

《新成人》（敬称略） おめでとうございます

番 地	氏 名	番 地	氏 名

【自治会のホームページ】

ホームページで、自治会の回覧内容や活動状況を簡単に
みることができます。

<http://www.matsukazedai-chigasaki.com/>

